



開発実績

IOT : 世界最小クラスの AI エッジコンピュータ

IOT やモビリティ製品に搭載するエッジコンピュータは省電力小型化が必須です。本開発では、70FPS の AI 物体認識性能を 3W の低消費電力を記念切手サイズで実現。お客様製品に最適なカスタム設計サービスをご提供致します。

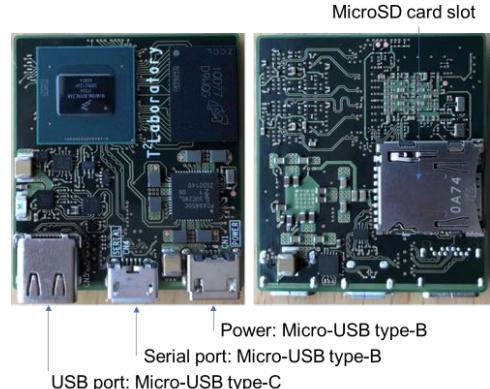
■AIエッジコンピュータの特長

- 世界最小クラス: 38mm × 34mm
- 高性能: 50~70fps
- 低消費電力: 待機時2W、ニューラルネットワーク動作時3W
- 100G Etherネット接続
- 用途に応じたカスタム開発

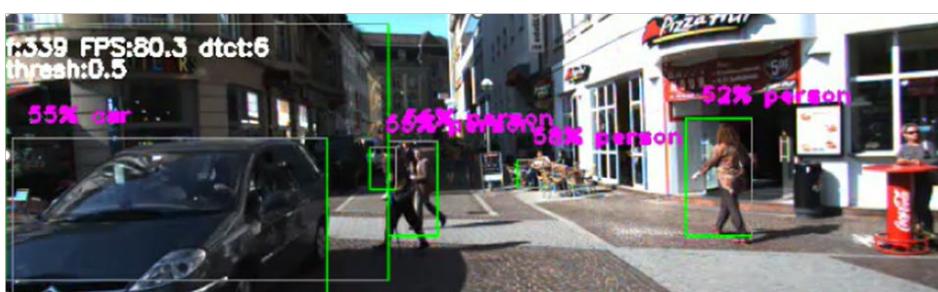


■主要諸元

- CPU(SOC): MIMX8ML8DVNLZAB
(ARM A53 4コア + 2.3Tops NPU)
- メモリ: 4GB LPDDR4
- ストレージ: マイクロSDカード
- IO: USB3
- 電源: 5V 3A
- サイズ: 38mm × 34mm
- OS: Yocto Linux, Ubuntu



■適用例: ニューラルネットワーク(MobileNet)を用いた物体認識

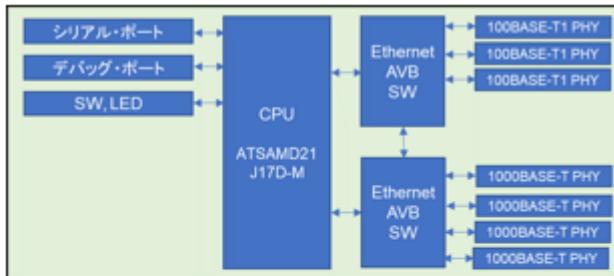


Mobility: モビリティネットワーク評価システム

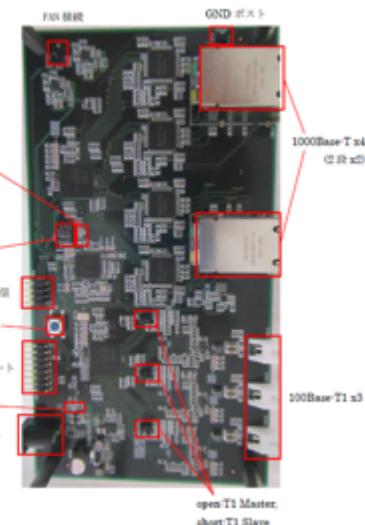
ロボット、ドローンなど多くの映像データを扱うオートモビリティ製品の開発では搭載ネットワークの最適設計が必要です。本システムではオートモビリティに搭載されるセンサやエッジコンピュータ、サーバ間のネットワーク・トラフィックの定量評価を可能にしました。お客様の製品開発に合わせたカスタム設計サービスをご提供致します。

■ ネットワーク評価ボード

モビリティ搭載イーサネット・ゲートウェイのトラフィック評価にお使い頂けます。

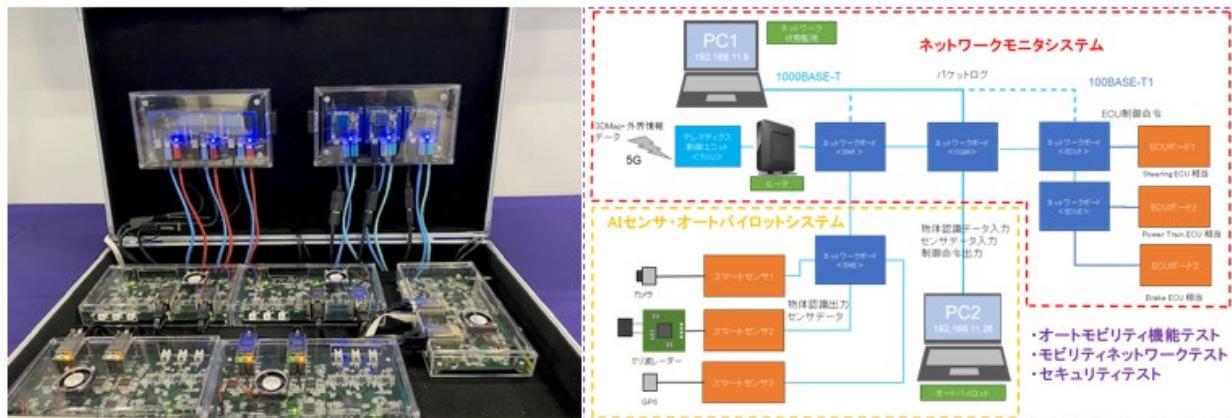


- CPU: ATSAMD21J17D-M
- Ethernet AVB SW × 2
- Ethernet 7ポート (100BASE-T1 × 3, 1000BASE-T × 4)
- シリアルポート 4pinヘッダ
- デバッギングポート 8pinヘッダ
- 汎用タクツスイッチ、DIPスイッチ
- 電源 12V 2A



■ ネットワーク評価システム

ネットワーク評価ボード複数接続して、センサ・エッジコンピュータ群とサーバ間のデータトラフィック量を定量評価し、システム開発を容易化する例です。



お問い合わせ

株式会社ティーツー・ラボラトリ
info@t2-laboratory.com
ホームページ : t2-laboratory.com

